

# 資源管理に必要な情報の提供事業 II

## 定置網漁獲統計調査

久野正博

### 目的

定置網に関する詳細な漁海況情報を蓄積して伝達することにより、資源管理を行っていくための基礎資料とする。

### 方法

対象漁場：県内18ブリ定置漁場のうち、波切・長島・有井を除く15漁場

調査年度：平成14定置年度（平成14年10月～平成15年7月）

調査項目：魚種別漁獲量、水温、透明度、流向

### 結果

詳細については平成14定置年度（平成14年10月～平成15年7月）三重県ブリ定置漁獲統計で報告するので、以下は結果の概略を示す。

調査漁場の魚種別漁獲量を表1に示した。総漁獲量は4,164トンで前年度比117%であった。魚種別ではブリが743トンと最も多く全魚種の17.8%を占めた。次いでワラサ444トン、サバ395トン、マアジ378トン、マルソウダ371トン、シイラ230トン、その他アジ類204トン、カタクチイワシ188トン、スルメイカ160トンであった。上位2種をブリ、ワラサが占めたのは魚種別統計が整備されて初めてであった。漁獲量10トン以上の魚種の中で前年度と比較して漁獲が増加したのは、ハガツオ（前年度比7.5倍）、ヒラマサ（同4.3倍）、サバ（同3.7倍）、カワハギ（同2.4倍）、その他アジ類（同2.3倍）、ブリ（同2.2倍）、イワシ（同2.2倍）、マダイ（同1.8倍）等であった。逆に減少した魚種は、ウスバハギ主体のその他ハギ類（前年度比30%）、ヒラソウダ（同31%）、イナダ（同35%）、マアジ（同48%）、カンパチ（同52%）、ボラ（同75%）、タチウオ（同75%）、トビウオ（同75%）等であった。

表2にはブリ銘柄別漁獲量の年変化を示した。ブリ（6kg以上）の全漁獲尾数は95,131尾（前年度比2.0倍）で、昭和51（1976）定置年度以降では、平成11定置年度、平成5定置年度に次ぐ豊漁であった。特に九木2号では1漁場で3万尾を越える漁獲となった。1漁場で3万尾を越える漁獲は昭和47（1972）定置年度に梶賀と片田以来31年ぶりであった。ブリのまとまった入網は春季にみられ、3月に全体の約51%、2～4月では全体の93%が漁獲された。全漁場合計の最高尾数は2月26日の7,433尾、次いで3月30日の6,852尾、3月16日の4,745尾、3月12日の4,693尾、3月5日の4,373尾であった。1漁場における1日の最高尾数は九木2号の7,317尾（2月26日）、次いで九木2号4,532尾（3月12日）、4,226尾（3月5日）、3,840尾（2月22日）、梶賀の3,786尾（3月16日）であった。

ワラサ（2～6kg未満）の全漁獲尾数は113,584尾（前年度比1.23倍）で、ワラサ高水準の近年では平均的な漁獲尾数であった。ワラサの入網は秋季と春季にピークがみられ、11～12月に全体の47%、3～4月に全体の34%が入網した。秋季の方が春季より漁獲が多かつ

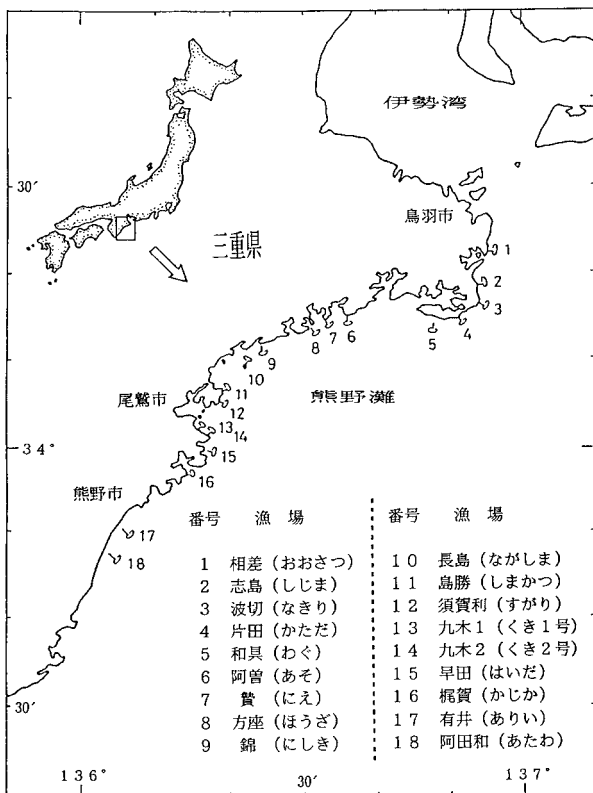


図1 定置漁場位置

表1 全漁場魚種別漁獲量（2002年10月～2003年7月）

順位	魚種名	漁獲量(kg)	相対度数(%)
1	ブリ	743,025	17.845
2	ワラサ	443,859	10.660
3	サバ	395,333	9.495
4	マアジ	378,273	9.085
5	マルソウダ	370,695	8.903
6	シイラ	230,238	5.530
7	その他アジ類	204,026	4.900
8	カタクチイワシ	187,790	4.510
9	スルメイカ	159,691	3.835
10	イワシ類	130,614	3.137
11	その他イカ類	95,283	2.288
12	イサキ	90,265	2.168
13	マダイ	79,033	1.898
14	カワハギ	45,520	1.093
15	ヒラマサ	38,163	0.917
16	ウルメイワシ	38,114	0.915
17	フグ類	36,544	0.878
18	カマス	33,481	0.804
19	トビウオ	32,044	0.770
20	イナダ	26,994	0.648
21	ハガツオ	26,115	0.627
22	イシダイ	24,567	0.590
23	ボラ	23,339	0.561
24	スズキ	22,276	0.535
25	カンパチ	17,743	0.426
26	メジナ	15,095	0.363
27	ヒラソウダ	14,068	0.338
28	タチウオ	13,908	0.334
29	その他ハギ類	13,555	0.326
30	ヨコワ	11,024	0.265
31	マイワシ	10,236	0.246
32	ヒラメ・カレイ類	8,933	0.215
33	ウマヅラハギ	5,130	0.123
34	ムツ	4,097	0.098
35	マグロ類	2,939	0.071
36	サワラ	2,650	0.064
37	ヤリイカ	1,774	0.043
38	カジキ類	1,549	0.037
39	シマアジ	1,421	0.034
40	その他雑魚	184,323	4.427
合計		4,163,726	100.000

たことは統計が整備されている昭和40年以降では初めてで、11月の漁獲は過去最高の32,943尾に達した。全漁場合計の最高尾数は12月11日の10,001尾、次いで11月27日の5,850尾、4月29日の5,760尾であった。1漁場における1日の最高尾数は島勝の6,254尾（12月11日）、次いで早田の3,810尾（4月29日）、片田の3,622尾（11月27日）であった。

イナダ（0.5～2kg）の全漁獲尾数は23,066尾（前年度比27%）で前年および前々年を大きく下回り、イナダ高水準の近年では平成10定置年度に次ぐ低水準であった。イナダの入網は秋季から冬季は例年並みであった

表2 ブリ銘柄別漁獲尾数の年変化

定置年度	ブリ	ワラサ	イナダ
5 0	116,766	39,340	15,529
5 1	59,202	8,859	13,618
5 2	32,942	23,197	17,081
5 3	56,314	33,722	28,522
5 4	26,676	42,943	57,647
5 5	30,174	48,547	45,857
5 6	42,835	42,212	42,027
5 7	50,182	20,012	23,677
5 8	61,493	29,445	86,242
5 9	35,588	28,682	91,930
6 0	51,428	90,790	75,805
6 1	57,365	30,346	71,282
6 2	45,568	58,619	52,923
6 3	29,482	23,913	212,372
1	48,452	141,790	106,244
2	23,531	95,668	69,701
3	40,233	120,464	60,153
4	39,515	116,342	103,796
5	95,229	80,803	149,086
6	52,901	157,425	29,764
7	61,474	90,118	25,090
8	34,920	94,161	228,612
9	44,631	148,757	55,462
1 0	34,915	140,558	21,998
1 1	104,850	99,046	105,942
1 2	29,180	62,779	103,578
1 3	47,304	92,165	86,466
1 4	95,131	113,584	23,066

表3 主要魚種の漁獲量（トン）の年変化

定置年度	マアジ	サバ <sup>※1</sup>	イワシ <sup>※2</sup>
5 8	91	584	1,665
5 9	63	563	329
6 0	110	1,313	494
6 1	634	655	530
6 2	179	542	513
6 3	377	980	631
1	385	301	1,347
2	853	317	996
3	644	148	815
4	1,253	654	939
5	1,312	1,010	1,502
6	306	255	907
7	1,199	410	533
8	792	845	1,076
9	535	278	714
1 0	408	129	226
1 1	382	201	420
1 2	641	67	155
1 3	789	108	168
1 4	378	395	367

※1 マサバとゴマサバの合計

※2 マイワシ、カタクチイワシ、ウルメイワシの合計

が、春季にはまとまった漁獲がみられず、極めて低調に推移した。漁場としては和具で最も多く、全漁場の約半

分を占めた。前年度に最も多い漁獲のあった贅では、今年度はほとんど漁獲がなかった。1漁場における1日の最高尾数は和具の2,242尾（1月6日）、次いで島勝の1,705尾（12月3日）であった。

ブリ以外の主要魚種であるマアジ、サバ、イワシの動向について表3に示した。マアジは前年度および前々年度は全魚種で最も多く漁獲されていたが、今年度は378トンで第4位に後退し、高水準が続いていた近年では平成6定置年度に次ぐ低水準であった。サバは過去5年の漁獲量を上回る395トンで、平成8定置年度以来6年ぶりにマアジの漁獲量を上回った。イワシの漁獲は367トンで、マイワシの減少傾向が進む中、カタクチイワシが

好漁で、ウルメイワシも前年を大きく上回る漁獲があり、イワシ全体で前年、前々年を上回った。

その他、マダイの漁獲量が平年の2倍以上の79トンに達し、魚種別統計が整備されている昭和46（1971）定置年度以降では最高を記録した。春季に志摩半島周辺で多く漁獲され、特に片田・和具・阿曾の3漁場で50トンを超える漁獲があった。

#### 関連報文

三重県：平成14定置年度三重県ブリ定置漁獲統計，2004